

進路室だより

夏休み特集号

—光陰矢の如し—

【発行】

愛媛県立南宇和高等学校
進路課

南高3年生へ

教頭 花岡 達朗

夏休みが始まりますが、3年生にとっては将来を左右する大切な時期になりました。就職を希望する人、進学を希望する人、人それぞれではありますが、大きな実りを得るための準備をこれからしっかりと行ってください。

就職を希望する人に尋ねてみたいことは、「どのような仕事に就きたいか」ということです。世の中には非常に多種多様な仕事がありますが、私自身、すべての仕事を知っているかというところではありません。会社の内容を見て「そんな仕事もあるんだ」と初めて知ることがあります。就職試験では、「なぜうちの会社を希望してくれるのか」は最も知りたいことだと思います。「手先が器用でそれを生かせる仕事だと思いました。」とか、「お客様に品物を気に入っていただいたときの笑顔を見たくて希望しました。」など、自分なりに考えをまとめておくようにしてください。

また、ニューヨーク市立大学のキャシー・デビッドソン氏は「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」との研究報告をしました。今はあるけれど7年前になかった仕事は身の回りにありますか？「仮想通貨」など昔からあったのかも

やるしかない!!!

進路課長 本田 智也

有意義な夏休みを過ごすには、事前の計画をしっかりと考えておかなければいけません。そういう私も、学生時代は宿題を夏休みの最後までやらず苦労しました。そうならないためにも、しっかりと計画を立てましょう。みなさんも、高校1年生、2年生、中学時代と私の学生時代と同じなのではないのでしょうか。今回だけでも計画的な夏休みをチャレンジしてはどうでしょうか。まずやってみましょう。

下に1・2年生と3年生の夏休みの過ごし方について詳しく書いておきます。

【1・2年生】

まずは1年生ですが、今まで高校生活で学んだことを復習しましょう。まだ、みなさんは高校に入学して3ヶ月しかたっていません。習った範囲には十分総復習ができる量です。この夏休みにやってみましょう。2年生は、まず国語・数学・英語の自分が苦手だと思う範囲を定めて復習していきましょう。また、1月の模試では地歴と理科の科目が増えます。しかし、地歴と理科は2年生から始めた科目が多いので、復習する量も少ないはず。しっかりと復習して苦手意識をなくしていきま

知れませんが、多くの人に認知されたのはこの1、2年くらいではないかなと思います。一度就職しても今後転職することがあるかもしれませんが、転職する際にも「この仕事を」という強い気持ちを大切にしてください。

進学を希望する人をお願いしたいのは、「自分の力を見極める」ことです。自分が得意な科目は何か、不得意な科目は何か、どれだけ成績が伸びる余地があるのかなど、自分の力を客観的に見ることは大事です。というのも受験は自分だけ受けるのではなく、他人とも競わないといけません。自分で頑張ったつもりでも、他人の方が頑張っていることもあるし、進学希望先にも受け入れる枠が決まっているので自分が強く希望しても叶えられないこともあります。

そのような場合に準備しておいてほしいのは、「自分の希望を叶えることのできる進学希望先を数校見つけておく」ことです。例えば、「今の自分の力なら、何とかなりそうだ」とか、「もし試験がうまくいかないときはここに挑戦してみよう」とか「今よりこの程度力がつければここに行って勉強してみたいな」など、もしもの時を考えて進学希望先を探しておいてください。もちろん受験までに力を付けることは言うまでもありません。最後に、「過信」でなく「自信」を持てるようにしてください

しょう。2年の1学期の範囲だけなら、まだ復習できます。

また、この夏休みには各大学や専門学校でオープンキャンパスなどが開催されます。自分が第一志望だと考えている学校には一度は行ってみることをお勧めします。それによって勉強のモチベーションも上がるかもしれません。

【3年生】

就職のみなさんは、9月に就職試験があります。面接指導や履歴書作成などやるものがたくさんあります。体育祭の練習などもありますから、早め早めの準備をするようにしましょう。また、課題と同じ時間に就職指導もありますが、なるべく学校に来て先生の指導を受けるようにして下さい。

進学のみなさんは、今、「時間をもっとあればいいのになあ」と感じていませんか。それが普通の受験生です。夏休みは最後の、基礎基本を仕上げること、苦手範囲を復習することができる時です。一生の中で一度ぐらい勉強に集中する夏があってもいいのではないのでしょうか。やるしかないのです。

最後に、この時期、進路先や成績が伸びなくて悩んだりする生徒を多く見ます。悩むことは自分の進路のことをしっかりと考えていることなので悪いことではないと思います。しかし、勉強が手につかなくなるぐらい悩むのはいけません。その時は、悩みすぎるのをやめて、行動(勉強)をするしかないのです。

春にみなさんの笑顔が見れるよう頑張りましょう!

有意義な夏休みを

3年学年主任 平田友志

昨年度の本校の求人数は、県内165社、県外556社の計721社でした。ここ近年で一番求人数が少なかったのは平成23年度で、県内69社、県外184社の計295社であり、2.4倍もの差があります。ありがたいことに本年度も昨年度と同様に多くの企業から求人が来ています。しかし、企業も人手がほしく多くの求人を出していますが、誰でも採用する訳ではありません。やはりいい人材がほしいのです。

今年度多くの企業の方と話をさせていただくなかで、担当者から「やる気」、「元気」、「コミュニケーション能力」のある学生さんがほしいとよく言われます。

私はコミュニケーション能力を高めるために夏休みはいい機会だと思っています。部活動では、練習試合に行ったり、合宿に参加したりすることで他校の生徒と交流することができます。また、オープンキャンパスに参加すれば、その学校の学生さんであったり先生方と話す機会があります。ま

た、ボランティア活動に参加すれば、いろいろな年代の方と交流する機会があります。このように、夏休み中は普段の学校生活ではなかなかできないことができます。そのような活動に参加し、人と話をしたり聞いたり、いろいろな体験をすることでコミュニケーション能力を高めることができると思っています。

ただし、皆さんは高校生なので、まずは「学力」をつけることが大前提です。その上で、学校生活を通して、「やる気」(物事に積極的に取り組む)、「元気」(体調管理をして学校を休まない、授業・部活動等を通して体力をつける)、「コミュニケーション能力」をつけていく必要があります。企業や専門学校や大学から、ぜひほしいと言われる人物になれるよう努力してもらえればと思います。

3年生はいよいよ就職試験、推薦入試、一般入試等が始まります。しっかりと計画を立てて、ぜひ、有意義な夏休みにしてもらいたいと思います。

背水の陣とは

3年3組 担任 大久保綾美

南高の皆さんは「背水の陣」という言葉を知っていますか？おそらく多くの人がこれまでに国語の時間等で聞いたことのある言葉だと思います。では、実際に「あなたは今背水の陣だね。」と言ったり言われたりしたことはありますか？

私は高校3年生の時、センター試験で自分が思うような結果を残すことができませんでした。学校で自己採点をしている間ずっと「やばい、まずい、どうしよう、いや今更どうしようもないんだけど・・・これ、なかったことにできないかな？」と無意味なつぶやきを頭の中でぐるぐると繰り返していました。

さすがに落ち込んで家に帰った私に、母は気遣い優しい言葉をかける・・・と思いきや、ガツンときつい一言を投げかけてきたのです。「あんたは今背水の陣なんよ！分かっとな？！」

てっきりなぐさめてもらえていた私にとって、この「背水の陣」の一言は大きな衝撃であったことを今でもはっきりと覚えています。確かに、落ち込んでいる場合ではなかったし、次の2次試験に向けてとにかく頑張らないといけない時期でした。母の一言で、とりあえず今度こそ後悔のないように勉強しなくてはならないとことに気付かされたのです。

皆さんはこんな「背水の陣」を経験しないで済むように、今から必死で頑張ってくださいね。

目標は『勉強＝生活の一部』となること

1年4組 担任 古田賢司

『夜の九時。夕飯を食べて身支度を済ませ、机の前に座る。棚の上に置かれたラジカセの電源を付け、ツマミを回してAMラジオの周波数を合わせる。小気味のいい音楽と共にMCが雑多な話をする。それを聞き流しながら、本日の勉強予定を確認。たしか今日は宿題と、数学の勉強するつもりだったはず。勉強用ノートを手に取り、参考書を開いて問題演習に取りかかる。思考の跡が残るように途中計算や使った公式をノートに書き記す。雑多なメモ書きのようだが、とにかく意識して手を動かす。夜十一時過ぎ、まだ眠くない。目が覚めてしまうのでスマホを触るのは我慢。漫画を読んで眠気が来るのを待つ。』

家庭学習をするとき、皆さんはどんな時間にどんな環境で勉強していますか。私が高校生の時分には、ラジオとCDを相方にして、風呂から寝るまでの時間を使いながら勉強していました。いまでもその状況をなんとなく思い出すことができるのは、それが習慣として身に付いていたからだと思います。家庭学習というものは考査前に何時間やったところで、真価を発揮するものではありません。毎日の積み重ねで、生活習慣にがっかりと組み込まれてこそ最大限の効果を発揮します。寝る前に歯磨きをしていないと口の中がもやもやして落ち着かない、それと同じように、勉強しておかないとなんだか違和感があるくらい習慣化することを目指しましょう。ただし勉強する時間が嫌な時間になってしまうと長続きしませんから、自分なりにBGMやご褒美など工夫して、良い習慣化ができるといいですね。

就職した先輩の声

ホテル椿館

農業科 女子

高校の頃に行ったことで特にためになったと思うことは、いろいろな研修に参加したことです。様々な場所に行き、多くの人と触れ合うことでとても勉強になりました。そのときに経験したことすべてが、今生かされていると感じています。また、高校で努力しておいてよかったことは、勉強です。社会人になっても勉強することは大切だと思います。学校の勉強ももちろん大切ですが、自分の好きな事や趣味についての勉強もいいと思います。いろいろなことを知っておくことが大切です。

就職活動では不安になることもあると思いますが、高校の間はまず毎日元気に登校することが大切だと思います。そうして頑張って就職して、私は今仕事がとても楽しいです。少しでも長く仕事を続けて、仕事を頑張っていきたいです。

宇和島地区広域事務組合消防本部

普通科 男子

消防士の仕事は、公務員としての自覚がとても必要です。私たちが頂く給料は、国民の方々の税金です。だから、初めて給料を頂いたときには、社会人としての自覚や公務員としての自覚が、自分の中で生まれました。これからもその初心の気持ちを忘れずに頑張っていこうと思っています。また社会人になって、いかに早寝早起きが大切なのか、身にしみて感じています。厳しい環境で訓練する日々が続きますが、訓練生全員が同じ目標を掲げているため、毎日励まし合いながら、とても良い雰囲気です。私は高校時代、陸上部に所属していました。毎日、試験勉強との両立が難しく、睡眠時間が短いときもよくありました。先生方には、試験に備えて、個人面接、集団討論などの練習に付き合ってもらいました。同じ就職を目指す仲間とも一緒に練習をしました。これから就職を目指すみなさんも、周りの人との出会いや繋がりを大切にしてほしいと思います。頑張ってください！

株式会社 愛媛銀行

普通科 女子

私が就職した企業は、とても真面目で厳しいところという印象がありましたが、実際に入学してみると予想よりもさらに厳格なところでした。現在は礼儀作法や専門分野に関する研修を頑張って受けています。そういった中で、高校の時に部活動などを通して学んだ「社会に出てから役立つこと」はとてもためになっています。先生方の言葉は覚えておくと、ふとした時に思い出して心の支えになることが多いので、よく聞いておいてください。就職のために、たくさん面接練習をしました。また、なるべく多くの資格を取って自分のアピールポイントを増やしました。コミュニケーション能力は何の仕事についても必要になってくるので、今のうちから身に付けておくとよいと思います。皆さんも頑張って下さい！



これからのスケジュール

【就職】

- 7月20日(金) …… 斡旋就職希望者指導①
- 23日(月)～31(火) …… 第2回面接指導
- 8月1日(水) …… 斡旋就職申込書提出
- 17日(金)～23(木) …… 第3回面接指導
- 17日(金) …… 斡旋就職希望者指導②
- 9月5日(水) …… 第4回面接指導
- 6日(木) …… 就職書類発送
- 16日(日) …… 就職採用試験開始

【進学】

- 7月23日(月)～31(火) …… 夏季課外(前期)
- 8月6日(月)～7(火) …… 全統マーク模試
- 8月17日(金)～23(木) …… 夏季課外(後期)
- 18日(土)～19(日) …… 県学力テスト②(3年)

★ 就職も進学も、スケジュールをよく確認して計画的な準備をしていきましょう！

夏休みの勉強法

～自分の状況に合った勉強法を探してみよう～

国語

- 新聞を読んだり読書をしたりして、読解力や感性を磨くこと。(特に新聞のコラムや社説)
- ★時間はかかるが、結局は国語力の近道となる。
- 1年生の古典は、1学期に学んだことを復習しておくこと。(文法書をはじめから見直そう)
- ★高校で新たに身につける内容は、8割近くが1年生で学習する事項。1年生の古典を制する者は、高校古典を制す。
- 入試で小論文が必要な人は、自分の進路に関する本を読んしておくこと。
- ★小論文は、テーマに関する知識無しで書くと、ただの作文になる。
- 問題集を解き、疑問点を解決するように努めること。
- ★知識をコレクションするだけでは問題は解けない。理解して初めて意味がある。特に3年生は、これまでの努力を無駄にしないように。

地歴 ◎は特に3年生は必見

- 【日本史】
- ◎理解していない暗記では厳しい。授業で理解したことを、家で復習し、模試で確認するという習慣をつけよう。
- 教科書・ノートをもう一度最初から読む。
- 自分がどの部分が苦手なのかを把握し、苦手な範囲を重点的に復習しよう。
- 【地理】
- ◎苦手分野を残しておかないこと。(3年生は特に。地形図、図法、民族は大丈夫?)
- ◎模試を柱にして予定を立てよう。
- 広く広く、色々な知識を身につけよう。
- 地図帳や図表をよく読もう。
- 【政治経済】
- 取り組みやすいと思うセンター用問題集を用意し、この夏集中して取り組もう。
- わからないことを積極的に先生に質問しよう。
- 授業のプリントは繰り返し解いて必ずマスターしよう。

理科

- 【全般】
- 学習時間を確保してこつこつ取り組む。
- 1学期に習ったところの復習を徹底的にする。
- 確実な計算力を身につけること。
- 自然現象を注意深く観察する。
- 毎日の生活の中で、疑問を抱く。
- 新聞に目を通し、特に環境や医療問題に関する記事には注目する。
- なぜそうなるのかという疑問を持って、教科書を隅から隅まで読み、疑問点を解決しよう。

理科 ◎は特に3年生は必見

- 【物理】
- ◎物理の教科書をじっくりと読み返すこと。
- ◎問題を見たらすぐに解くのではなく、どの法則があてはまるかを書いて、解き始めること。
- ◎セミナー物理基本問題をもう一回自分で解く。
- 【化学】
- ◎模試の後には、模試の類問を問題集で解こう。
- 問題集を最低2回確実にやる。特に、答え合わせに力をいれること。○や×をつけるだけではなく正しい答えに至る考え方を大切にすること。
- 全体の概要をつかむようにしよう。
- 規則性に注目しよう。
- 【生物】
- 課題を確実にこなし、考え方をマスターする。
- 苦手な人は、問題集などを何回も解く。
- 【地学】
- 地震、台風、宇宙のニュースは最後まで見ること。
- この機会に、表や図を覚えよう。

数学

- 【センター試験受験生】
- 過去問や演習問題を解く際は、時間を測って自己採点する。
- 出題者の意図を読み取る。
- 定理の成り立ちを確認する。
- ★以上の点に注意すれば10点アップは確実。
- 【全般】
- 数学の見方、考え方の習得も大きく自分を成長させると思うこと。そして、日々無理のない学習計画を立て、こつこつと問題を解くこと。「継続は力なり」
- 1年生は、2次関数の式変形や条件に応じた解法の流れを理解すること。また、計算練習をしっかりとしておくこと。
- 2年生は、公式の復習を行い、整理しておく。特に、関数の特徴や解法の見通しを意識して学習すること。
- 3年生は様々な問題を解き、その解法を身につけておく。なぜそうなるのか、しっかりと考えるようにすること。

英語

- 【1・2年生】
 - 1学期に学んだことをしっかり復習すること。
 - 基礎を確認した上で、じっくり問題集に取り組むなど、プラスαの勉強をしてみよう。
 - 苦手な人は、前学年の内容の再チェックをやりましょう。(1年生は中学校の内容の確認を)
 - 【3年生】
 - 時間を決めて速読の練習を。(センター試験を意識して。)
 - 問題集の解き直し。(重要事項が詰まっています。)
 - 自分の学力をじっくり考えて、語彙力の強化(単語・イディオム)や、リスニングもやってみましょう。
 - 志望校の過去問の研究も始めましょう。
- ☆英語は、ちょっとやったらすぐに結果の出る教科ではありません。粘り強くあきらめず、毎日継続して勉強してきましょう。